



現在の広見保育園

= 6 =  
広見保育園  
運動会の練習

昭和45年9月



保育園が次々に誕生した時代

昭和四十二年四月、次々と新しいアパートや住宅が建設され人口増加が著しかった広見地区に、待望の広見保育園が開園しました。昭和四十年代から五十年代にかけては、働く女性や出生児の増加により、市内には保育園が次々と誕生した時代でした。

その後、広見地区ではさらに保育需要が高まり、地区二番目の保育園として、小百合保育園が昭和四十九年に開園しました。(平成二年に広見保育園へ統合)

たちまち定員がいっぱいに

当時の広見保育園は、今の広見公民館付近にありました。北側はがけでしたが、周りには茶畑が多くあり、南側は眺めがすばらしく海がよく見えしました。写真は、運動会で発表する旗体操の練習風景です。このころ園では、新たに鼓笛隊にも取り組みました。

当時、百二十人の定員はたちまちいっぱいになってしまっただけで、皆さんの期待は大きく、それに後押しされながら夢中で子どもたちを見ていたことを思い出します。



広見保育園で  
保育士をしていた

渡会 安喜子さん(左)  
鈴木 ふじ子さん(右)

こちら編集室

寒い、寒すぎる、ことしの夏はどこへやら。お盆のころには既に秋の気配が感じられる気温になり寂しい限りでした。しかし、8月下旬になってからようやく夏らしい暑さが戻ってきました。そう、富士市のアツイ夏はこれからです。

ついにNEW!!わかふじ国体が始まりました。県富士水泳場で行われる競泳・飛込競技では、熱戦が繰り広げられることと思います。編集室も国体取材モードに切りかえ、全力で選手やボランティアの皆さんを追いかけたいと思います。

人口 242,699人 (前月比+82)  
男 120,759人 (+11)  
女 121,940人 (+71)  
世帯 84,919世帯 (+78) 8月1日現在  
編集・発行 富士市総務部広報広聴課  
〒417-8601 静岡県富士市永田町1-100  
☎0545-51-0123(代) ㊟0545-51-1456



平成十五年九月五日号